

平成 10 年度雑草防除基準に採用した水稻除草剤

水稻用除草剤ワンベストフロアブル（初期剤）、クラッシュ 1 キロ粒剤・シンザン 1 キロ粒剤・ストライカー 1 キロ粒剤・ダイハード顆粒・プロスパー A 1 キロ粒剤 36（以上一発処理剤）及びクリンチャーバス ME 液剤（中期剤）が平成 10 年度雑草防除基準に採用された。

これらの除草剤の使用法と除草効果について紹介する。

表 1 新除草剤一覧

区分	除草剤名	使用時期	使用量 (/10a)	処理方法
初期剤	ワンベストフロアブル	移植直後～移植後5日(ル ¹ E 1 葉期迄)	500ml	原液湛水散布
一発 処理剤	クラッシュ 1 キロ粒剤	移植後7～12日(ル ¹ I2.0 葉期迄)	1kg	湛水散布
	シンザン 1 キロ粒剤	移植後7～12日(ル ¹ I2.0 葉期迄)	1kg	湛水散布
	ストライカー 1 キロ粒剤	移植後7～15日(ル ¹ I2.5 葉期迄)	1kg	湛水散布
	ダイハード顆粒	移植後7～12日(ル ¹ I2.0 葉期迄)	60g	湛水散布
	プロスパー A 1 キロ粒剤36	移植後7～15日(ル ¹ I2.5 葉期迄)	1kg	湛水散布
中期剤	クリンチャーバス ME 液剤	移植後25～40日(ル ¹ I4.0 葉期迄) (但し、収穫60日前迄)	1000ml	落水又はごく浅く湛水して散布

ワンベストフロアブルは、10 a 当たり使用量 1,000ml で初期一発剤として既に採用されているが、その半量使用で初期剤として新規に採用された。

ダイハード顆粒は、10 a 当たり 60g を 500ml の水に希釈してフロアブル剤と同様の方法で散布する。

クリンチャーバス ME 液剤は、10 a 当たり 1,000ml を 70～100 ㍓の水に希釈して茎葉散布する。

表 2 除草効果一覧

除草剤名	残効 (日)	一年生雑草			多年生雑草							特記事項	
		ル ¹ E	タガヤツリ	その他 広葉	マツバ	ホトメ	ハラモ ダカ	ミスガ ヤツリ	ヒルムシロ	表層 剥離	クワ		ワ
ワンベストフロアブル	20	1.0L				発生始	発生始	-	-	×	×	-	
クラッシュ1キロ粒剤	40	2.0L				2.0L	2.0L	2.0L	発生盛期	×	発生始	発生始	他にも卓効
シンザン1キロ粒剤	35～40	2.0L				2.0L	2.0L	発生始	発生盛期	×	×	-	一年生広葉 再生早い
ストライカー1キロ粒剤	40	2.5L				2.0L	2.0L	2.0L	発生盛期	発生前	-	-	他にも卓効
ダイハード顆粒	40	2.0L				2.0L	2.0L	2.0L	発生盛期	発生前	-	-	他にも卓効
プロスパー-A1キロ粒剤36	40	2.5L				2.0L	2.0L	2.0L	発生盛期	発生前	-	-	他にも卓効
クリンチャーバスME液剤	10～15	4.0L				4.0L	6.0L	増殖始		×	-	-	残効はル ¹ E 以外

凡例 著効、 効果極大、 効果大、 ×効果なし、 - 未確認